

岡山大学同窓会並びに 医学部同窓会（鶴翔会）

岡山大学医学部同窓会
（鶴翔会）副会長
小谷 秀成
Kodani Hidenari
昭和33年医学部卒業
元岡山県医師会長 開業医師



鶴翔会の活動

今年、創立140年を迎える岡山大学医学部は、現在250有余の関連病院を擁し、6,500余名の同窓生が医学、医療、行政の分野で活躍されています。

医学部では、同窓の諸先輩と固い絆を結んで相互の親睦を図り、社会から求められている“よき医師、よき研究者”を育成するために教員、在学生と卒業生が一体となった岡山医学同窓会を昭和7年5月8日に発足させましたが、平成18年6月3日に「鶴翔会」と改称されました。鶴翔会では、年2回(4月、10月)会報を発行し、医学部・大学病院・教室の動き、会員の近況、関連病院、支部、同期会、学生等の状況を伝えています。隔年には会員名簿も発行しています。また、鶴翔会は、在学生を対象に毎年100万円～150万円の研究助成(学部学生の小規模な教育・研究機材の購入等)を行っていますが、さらに、平成19年度からは、医学部医学科における学生の国際交流等を助成支援するため、鶴翔会及び積善会等からの寄附金を基に学務課に「鶴基金」を設立し、医学研究インターンシップにおける海外研究をサポートしています。そして、その成果は参加した学生からの体験報告の形で鶴翔会誌に掲載しています。

ところで、昨年11月3日には第一回ホームカミングデイが医学部で開かれ、キャンパスツアーの後、特別記念講演会(木南英紀順天堂大学学長・テーマ:外部から見た岡大医学部)、学年代表総会(テーマ:報告と140周年記念事業)が行われました。なお、本年11月3日には、ホテルグランヴィア岡山において創立140周年記念式典等が盛大に開かれることになっていますので、鶴翔会の皆様方には多数御参加いただきたいと思います。

おわりに、今後、岡山大学同窓会活動の充実に向けて、皆様方の御理解と御協力を賜りますとともに、各学部同窓会が相互に連携し、母校の更なる発展のために些かなりとも貢献できますよう願っています。

岡山大学創立60周年と岡山大学同窓会

昨年は、岡山大学創立60周年に当たり、記念事業の一環としてシリーズで著名人をお招きしての講演会が開かれましたが、10月22日には創立60周年記念式典が挙行され、併せてキャンパスツアーも行われました。私どもは所謂、黎明期に入学し、旧施設を改装した教室で学んだ頃を思い出し感慨一入でした。

岡山大学は、戦後間もない昭和24年に学制改革により地方に総合大学を設置することが決まり、“是非岡間に”ということで県民、各団体が一体となって誘致した経緯があります。当時、3億数千万円もの巨額な募金も集め、地元負担金を予定どおり完納したのは岡山大学だけだったことは、後々までの語り種になっています。そして、開学当初の5学部から今や11学部1万4千人の在籍数を擁し、全国でも有数の総合大学にまで発展し、卒業生も10万8千人を輩出し、それぞれが国の内外で活躍されていることは、真に喜ばしい限りであります。

ところで、岡山大学は、平成16年に国立大学法人になり、千葉喬三学長は、大学改革と「学都・岡山大学の創成」に向けて全学一丸となって取り組んでおられます。

一方、大学の更なる飛躍のためには、各学部の同窓会が垣根を超え連携して母校を側面的に支援していく必要があることから、平成18年に全学の同窓会が結成されました。小長啓一同窓会長は、創立時の原点に戻り、教職員、学生、同窓生が一致協力して時代の要請に立ち向かう必要があることを同窓生に呼び掛けておられます。これまでの同窓会事業の実績は、役員会・総会の開催、会報の発行、同窓会ホームページの更新、Gmail(生涯メールアドレス)の提供、60周年記念事業等ですが、今後、地域社会・産学との連携、教育研究等に対する同窓会の支援が期待されています。

岡山大学の動き

千葉学長御挨拶 —創立60年の歩みとさらなる飛躍へ—

本学は、今年度創立60周年を迎え、講演会やシンポジウム、ホームカミングデーなどの様々な記念行事を行いました。行事には、多くの同窓生や地域の方々に御参加いただき、本学に寄せられている熱い想いと期待に応えるべく、覚悟を新たにいたしました。



本学の輝かしい歴史と高い評価に奢ることなく、多様性に富んだ総合大学としての特色を生かし、異分野融合による研究の高度化と教育の充実を目標とした改革を推し進め、学都・岡山大学の創成に挑戦して参ります。

同窓生の皆様には、引き続き、御指導・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

創立60周年記念式典

昨年の開学記念日である10月22日に岡山大学創立60周年記念式典が挙行されました。記念式典には、古矢博通岡山県副知事、小長啓一同窓会長など多数の来賓が参加され、総勢330人が出席しました。

記念式典では、応援団総部吹奏楽団による祝典曲の演奏、グリークラブによる学歌・学生歌の斉唱に続き、千葉学長からの式辞と来賓からの祝辞が述べられ、その後、スライドやDVDによる岡山大学60年の歩みと数々の最先端研究の紹介がありました。

式典後には祝賀会が行われ、招待された高谷茂男岡山市長などの来賓や同窓生・名誉教授らが学生・教職員とともに岡山大学の前途を祝しました。



ホームカミングデイの一日

昨年10月21日に開催された創立60周年記念行事の全学ホームカミングデイには、42人の第一期生を始めとする300人を超える草創期の同窓生が参加しました。秋晴れの天候の下、学生の案内でキャンパスウォークに参加し、旧交を温めるとともに岡山大学の発展に感慨深い様子でした。

小長会長による「岡山大学の新しい地平を開こう—創立時の原点に立ち返りながら—」と題した記念講演で、小長会長は、本学は旧制第六高等学校の精神を継承し、部活動などを通じ、心友を獲得することに重きをおく校風があったと自らの体験を基に振り返り、現代の混迷を極める世界においては、岡山大学は創立時の原点に立ち返り、教職員・学生・同窓生が一致協力して立ち向かう必要がある。優秀な研究を基に食糧や水の問題、エコの分野などで日本一を目指し、さらに外国人留学生を地域ぐるみで受け入れるなど、新しい地平を開いていくべきだと力強く語られました。また、サウジアラビアでのユーモラスな体験など、経験に裏打ちされた講演に、同窓生や教職員・学生ら会場を埋めた聴衆は、興味深く聞き入っていました。

また、就職活動を始める現役学生に対しては、OB・OGフォーラム（先輩と語る会）が開催され、十数社から、若きOB・OGが駆けつけ、企業説明、働きがい、就職活動におけるアドバイス、後輩に向けてのメッセージなどが語られました。

夕方からは懇親会が開催され、同窓生たちは学友や教職員・現役学生との話に花を咲かせ、最後には本学体育会応援団総部が学生歌「おお岡大」を合唱したあと、参加者全員でエールを送り、盛況のうちにホームカミングデイは幕を閉じました。

がん発生の新しいメカニズム

本学の地球物質科学研究センターの研究チームは、国立病院機構山口医療センターと協力して、鉄に富むアスベスト繊維やその他の微粒子の吸入によって形成されたと考えられる含鉄タンパク質小体を、悪性中皮腫を発症した患者の肺から分離し、地球物質科学的データ解析を行いました。その結果、分離された不溶性含鉄タンパク質小体（フェリチン-オキシ水酸化鉄）は、特定の元素を選択的に吸着して肺中に固定し、特に、放射性元素であるラジウムの濃度が海水の数百万倍にも達することが明らかとなりました。ラジウムとその娘核種による局所的かつ強力な α 線被ばく（ホットスポット被ばく）は肺組織のDNAを損傷し、悪性中皮腫細胞を含むいろいろなタイプの腫瘍細胞を生じ、悪性中皮腫だけでなくさまざまながんの原因となっている可能性が高い。すなわち、複雑ながんの発生メカニズムの中で、長期に渡る鉄に富む粒子の吸入とフェリチン-オキシ水酸化鉄の増加、肺中での含鉄タンパク質小体へのラジウムの蓄積が重要な役割を果たしている可能性を示し、論文として日本学士院紀要に発表されました。

Nakamura E., Makishima, A., Hagino, K., Okabe, K., Accumulation of radium in ferruginous protein bodies formed in lung tissue: association of resulting radiation hotspots with malignant mesothelioma and other malignancies, *Proc. Japan Acad. Ser. B*, 85, 229-239,

ウエイトトレーニング部の活躍

岡山大学体育会ウエイトトレーニング部は、チーム・スポーツとしてパワーリフティングとボディビルディングに取り組み、1990年に創部されました。

岡山大学を代表するチームとして正々堂々と戦い、本学の知名度・イメージ向上に寄与することを組織理念とし、日本一の部に、そして世界で通用する人材の育成を目標としています。

「選手は財産であり、OB・OGは誇り」であることを信念とし、互いの絆を深め、誠心誠意を尽くした指導に徹することを指導理念と掲げています。

指導成果は、1994年を初めに全日本学生パワーリフティング選手権大会において、団体総合優勝9回、2009年には史上初の男女団体総合5連覇を達成しました。世界パワーリフティング選手権大会(一般及びJr.)には、これまで延べ55名を超える選手が日本代表として出場しています。世界Jr.個人総合優勝者2名を含め、上位入賞者を数多く輩出し、世界の注目を得ています。2006年、2007年には、工学部システム工学科の三宅徹くん(2008卒)が、ベンチプレスで2回の世界記録更新を達成しました(75kg級:232.5kg(2006年), 242.5kg(2007年))。もちろん日本人学生では初めてのことです。

地域貢献活動も数多く実施し、現在ではOB会以外にも後援会が存在します。

電気自動車「i-MiEV」を導入

岡山大学は、昨年4月に地球温暖化対策に関する実施基本計画を策定し、温室効果ガスの排出抑制などについて推進することとしており、全国の国公私立大学で初めて、走行中にCO₂を全く排出しない電気自動車「i-MiEV」を昨年8月5日に導入しました。

本学への導入に当たっては、岡山大学のイメージカラーである「ベンガラ色」の車体に、デザイナー・水戸岡鋭治氏のデザインした岡山大学コミュニケーションロゴマークを配したデザインとしました。



●ホームカミングデイ(平成21年10月21日)アンケート集計結果

◇参加者の内訳

今回のホームカミングデイは、対象を昭和24年新制大学設立以降に卒業した第1期～第10期の卒業生(法文, 教育, 理, 医, 農)とし、各学部同窓会の協力を得て、約5500名に案内状を送付しました。その結果、キャンパスツアーに約180名、記念講演会に約200名(それぞれ当日出席を含む)、懇親会に84名が出席されました。男女別では約2対1で男性の参加が多かったです。

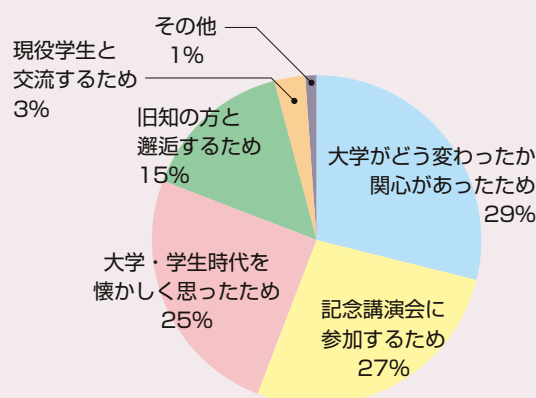
法文学部と教育学部の卒業生の参加割合が、どの行事もそれぞれ約8割を占めました。これは、案内状送付先の約7割が法文学部及び教育学部であり、また、両学部は県内在住者が比較的多いことが要因と考えられます。

◇情報入手方法

ホームカミングデイの情報は本学からの案内状から得たとされる方が86%と最も多く、次いで新聞等に掲載した広告(6%)や、友人からの話(6%)があげられました。

◇参加理由

参加理由は、高い順に、「大学や学生時代への懐古・知人との邂逅(40%)」「大学の変化への関心(29%)」「記念講演会への参加(27%)」となりました。記念講演会への参加は27%の方が理由にあげており、ホームカミングデイの中心行事と理解されていたようです。「大学の変化」については、現在の岡山大学への関心の高さなのか、参加者の好奇心であるのかは不明です。



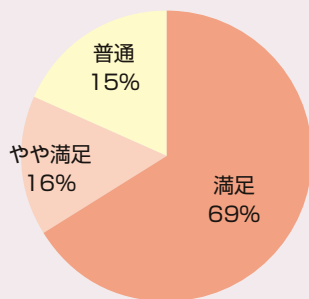
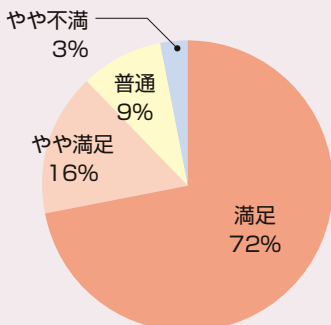
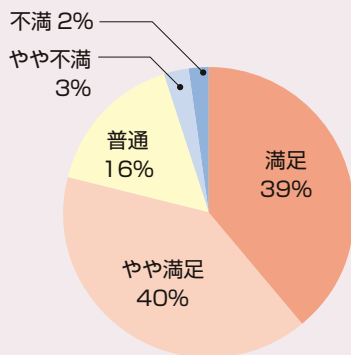
岡山大学の動き

●ホームカミングデイ（平成21年10月21日）アンケート集計結果

◇感想

行事であるキャンパスツアー、記念講演会、懇親会について、どの行事も「満足」「やや満足」と回答された方があわせて約8割以上おられ、多数の方に御満足いただけました。

「やや不満」「不満」と回答された中には、キャンパスツアーにまとまりがないとするもの、研究内容やその成果をもっと知りたかった、という意見をいただきました。



◇来年度以降の参加意思

平成22年度以降も実施するとした場合の参加についてお尋ねしたところ、7割弱の方に「参加する」と回答いただきましたが、3割の方が「わからない」とされており、その理由として「健康上の理由」をあげられている方が多数おられました。

◇全体感想（一部抜粋）

- ▶このような企画を設けて下さって感謝しています。準備も大変だったと思います。ありがとうございます。懐かしい。(多数)
- ▶いい企画。よく準備出来ていて感心した。大変だったと思う。感謝します。(理34卒)(教28卒)(教30卒)(教29卒)
- ▶講演は大学的、歴史的、興味深く聞けた。原点を思い起こした。(理37卒)(教34卒)
- ▶以前と建物等が変わっており、寂しく感じた。当時の面影はいちよう並木だけ。時代を感じる。(医30卒)(教28卒)(教32卒)
- ▶各分野の講演が聞きたい。(農33卒)
- ▶新制大学発足時の心意気を職員や学生も忘れないで。(農36卒)
- ▶学長のリーダーシップと「学都岡大」ビジョンに感動(農36卒)
- ▶学舎は新しくなっているが、あちこちの大木に懐かしいものがあった。(教26卒(2年課程))
- ▶美術専攻の学生として、大学に寄贈できる作品を作りたいと目標が持てた。(教26卒(2年課程))
- ▶大学の素晴らしい発展に感動した。(教29卒)
- ▶旧友には会えなかったが、新しい知り合いが出来て、思い切って参加してよかった。(教30卒)
- ▶寄席はプロに劣らぬ上手さに感動した。(教30卒)
- ▶学内を案内していただきありがたかった。(教31卒)
- ▶「いちよう並木」をととも興味深く読ませていただいた。キャンパスツアーも楽しかった。(教32卒)
- ▶思いがけない旧知の方々の元気なお姿に会えて感激した。(教29卒)
- ▶エコ大学日本一になって欲しい。20年先の時代を背負う人材を育てて欲しい。(教31卒)
- ▶広いキャンパスで緑に包まれ生き生きしている。そんな学校で学べた事に今更ながら感謝。現学生にも感謝して欲しい。(教31卒)
- ▶盛大だった。次回は更なる拡大を期待する。(法文32卒)
- ▶マスコミを動員すべき。岡大への寄附の呼びかけが弱い気がする。(法文32卒)
- ▶大学構内をととも懐かしく見学できた。(法文38卒)
- ▶50周年記念館に興味があった。(法文35卒)
- ▶OBが気楽に集える場所があったらいい。(法文30卒)
- ▶お世話する方は大変だろうけど、これから毎年1回続けて欲しい。青春の思い出に浸りたい。(法文29卒)
- ▶現学生と自分の岡大という環境の中で、時代格差というものを感じようとするエネルギーがわいてきた。(法文36卒)
- ▶大学全体が大変立派になっているのに感心した。(法文34卒)
- ▶毎年は無理でも、3、5年ごと開催してはどうか。(法文29卒)
- ▶もっとPRしてはどうか。(法文33卒)
- ▶もっと多くの方が参加されるとよいと思う。(法文34卒)
- ▶学生と話がしたかったけど、人も多く、時間もなかったので残念。屋上からの母校の眺めに感動した。(法文30卒)
- ▶環境整備が行き届いていて、素晴らしい発展だった。(法文38卒)
- ▶校舎建物群が新しくなっていたこと、記念樹などが印象的だった。(法文29卒)

全学同窓会からのお知らせ

岡山大学同窓会役員等

岡山大学同窓会の役員・顧問一覧です。

平成 22 年 3 月現在

役職名	氏名	備考
■役員		
会長	小長啓一	法文経学部同窓会
副会長	陶浪保夫	法文経学部同窓会
〃	小谷秀成	医学部同窓会
理事	高旗正人	教育学部同窓会
〃	長尾眞彦	理学部同窓会
〃	公文裕巳	医学部同窓会
〃	中野浩輔	歯学部同窓会
〃	岡本敬の介	薬学部同窓会
〃	加藤珪一	工学部同窓会
〃	佐藤直之	環境理工学部同窓会
監事	近藤弦之介	法文経学部同窓会
〃	宮本拓	農学部同窓会
事務局長	※坂東靖夫	
■顧問		
顧問	金光富男	名誉会員(法文経学部同窓会)
〃	千葉喬三	学長
〃	田中宏二	理事(企画・総務担当)
〃	佐藤豊信	理事(教育・学生担当)
〃	岡田雅夫	理事(教育研究環境担当)
〃	※佐野寛	文系学部長(法学部長)
〃	野木茂次	理系学部長(工学部長)

※平成 21 年 7 月 4 日付け新任

岡山大学創立 60 周年記念植樹式

昨年10月21日に本年度事業の一環として、同窓会の寄附による記念植樹式を行いました。

ホームカミングデイに参加した大勢の同窓会員や大学関係者の見守る中、千葉学長、小長会長と金光顧問が枝垂れ桜の植樹を行いました。

この「枝垂れ桜」は、創立五十周年記念館の前庭に植樹され、美しい花がキャンパスに春の訪れを告げることになります。



岡山大学同窓会ウェブサイト

岡山大学ホームページに、岡山大学同窓会ウェブサイトを開設しています。

総会等の事業報告、役員等の紹介などの同窓会の動きのほか、岡山大学から同窓生の皆様へのお知らせなどの情報提供を行っています。

下記のURLから御覧いただくか、岡山大学ホームページから「卒業生の方へ岡山大学同窓会」とリンクをたどっていただいても御覧いただくことができます。

岡山大学同窓会ウェブサイト

URL : <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/>



Gmail による配信

岡山大学では、平成21年4月から卒業生や退職教職員の方々に、希望により無料で利用できる「生涯メールアドレス」を提供するサービスを開始いたしました。このメールアドレスには、本学から定期的にメールマガジン（本学や同窓会主催のイベント情報、卒業生や退職教職員から寄せられる情報・寄稿、本学の取り組み等）をお届けいたします。

本システムを利用して、同窓会からだけでなく、同窓生の皆様からの配信も可能となり、将来にわたり双方向ツールとして活用できます。

配信を希望される方は、ホームページからアドレス付与の手続きを行ってください。

詳細は、岡山大学総合情報基盤センターの「Gmail特設ホームページ」を御覧ください。

URL : <http://www.okayama-u.ac.jp/user/cc/gmail/>

全学同窓会からのお知らせ

東京サテライトオフィスの移転

現在、「岡山市東京事務所内」にある岡山大学東京サテライトオフィスが、平成22年4月1日に東京都中央区京橋1-5-5京橋共同ビル1階（東京駅八重洲口徒歩4分）に移転いたします。

今後は、東京地区での就職活動支援、卒業生のフォローアップ、産学連携支援、同窓会支援などの諸活動を充実していく予定です。

詳細は、「岡山大学ホームページ→卒業生の方→東京サテライトオフィスの利用」を御覧ください。

URL：http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/satellite_office.html

平成22年度総会等の開催

岡山大学同窓会総会等は、平成20年度以降、毎年7月の第1土曜日に定例開催することとされています。

平成22年度は、7月3日（土）に開催予定です。詳細については決定次第、ウェブサイトや各学部同窓会を通してお知らせいたしますので、御参加ください。

なお、同窓会総会の開催に併せて、第2回ホームカミングデイを開催する予定にしております。

詳細が決まり次第、ホームページ等で御案内いたします。



▲平成21年度同窓会懇親会風景

▶住所変更等の手続きのお願い

同窓会報を皆様のお手元に確実にお届けするため、御住所・お名前等を変更された場合は、下記まで御連絡ください。

御連絡いただいた情報は、皆様の所属学部同窓会にも連絡するとともに、断りなく所属同窓会以外の団体や個人等に提供することなく、岡山大学同窓会において適切に管理いたします。

また、岡山大学21夢基金の御案内にも利用させていただきますので、御了承ください。

連絡先：〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

岡山大学同窓会事務局

TEL・FAX：086-251-7019

e-mail：dousokai@adm.okayama-u.ac.jp

学部同窓会からのお知らせ

法文経学部同窓会

【岡山大学法文経学部同窓会岡山総会の開催】

日時 ●平成22年7月2日（金） 18：00～20：00

場所 ●ホテルグランヴィア岡山

連絡先 ●田邊（法文経学部同窓会事務局）
岡山市北区津島中3-1-1（社会文化科学研究科内）
Tel 086-251-7344 Fax086-251-7350
e-mail：tanabe-k2@adm.okayama-u.ac.jp

【東京支部総会の開催】

日時 ●平成22年7月23日（金） 18：30～20：30

場所 ●法曹会館（東京都千代田区霞ヶ関1-1-1）

幹事団に若手有志が積極的に参加。一期生から今年卒業したメンバーまで幅広い年代、業種の方が集まります。学部を越えて積極的に開催したいと考えておりますので、お気軽に御参加ください。お待ちしております。

問い合わせ先 事務局（alumni@okayama-u.ne.jp）

【大阪支部総会の開催】

日時 ●平成22年7月7日（水） 18：30～20：30

場所 ●弥生会館（大阪市北区芝田2-4-53）

大阪府若しくはその近辺に居住又は勤務されている同窓生の方は是非御参加ください。また、支部では囲碁会及びゴルフコンペも定期的に開催しております。囲碁の腕自慢の方、ゴルフのお好きな方は奮って御参加ください。詳細は下記にお問い合わせください。

大阪支部事務局長 小野健二 Tel 06-6222-5678
大阪支部長 高村順久 Tel 06-6365-5005
e-mail：t-takamura@sun-lo.com

※名古屋・神戸・広島・山口・香川・愛媛・島根及び津山の各支部総会は例年どおり7月～9月中に開催予定です。

【島根支部 活動の報告】

去る9月4日、本部から高橋監事様、大学から岡田副学長様をお招きし、サンラポーむらくもにて島根支部総会を開催しましたところ、総勢41名の有志が集まり、大いに盛り上がりました。法文経以外の学部出身者も含めた総会・懇親会は今回で2回目でしたが、会終了後も話は尽きず、夜の街へと消えていきました。

教育学部同窓会

平成11年に発足した教育学部同窓会も、間もなく12年目を迎えようとしています。

2代目会長として就任された高旗正人会長の舵取の下、きめ細やかな事業を行っています。

- 4月 入学直後のオリエンテーションの際の会長による入会呼びかけ
- 5月 教採自主講座の実施（22年度より学部との共催）
総会行事（総会・講演会・懇親会）
- 6月 母校（学部）への寄附金贈呈
- 8月 学部内美化行事に協力
- 12月 シンポジウム（3年生を対象の中心とした、卒業生数人による激励会）
- 3月 卒業生・修了生を対象とする入会呼びかけ
事業の活性化を計るため、組織の強化を検討中です。

鶴翔会 (医学部同窓会)

【鶴翔会総会の開催】

日 時 ●平成 22 年 6 月 5 日 (土) 13:00 ~ 20:00

場 所 ●岡山プラザホテル

連絡先 ●鶴翔会事務局

岡山市北区鹿田町 2-5-1 (医学部内)
Tel086-235-7060 Fax086-221-3959
e-mail:dosokai@md.okayama-u.ac.jp

【岡山大学医学部創立 140 周年記念式典】

日 時 ●平成 22 年 11 月 3 日 (祝) 10:00 ~

場 所 ●医学部・ホテルグランヴィア岡山

連絡先 ●鶴翔会事務局

明治 3 年岡山藩医学館の開設から本年がちょうど 140 周年となります。これを記念して当日は、種々の行事や祝賀会が開催されます。多数の御参加をお待ちしております。

ときわ会

【第15回ときわ会総会開催】

平成 21 年 8 月 2 日、「ときわ会総会」が保健学科看護学専攻主任の猪下光教授を特別会員にお迎えして、ホテルグランヴィア岡山で開催されました。

富田会長の挨拶で総会が始まり、議長に石原美恵子様(看学 17 期生)が、副議長に藤原泰子様(同)が選出されました。経過報告、会計報告・会計監査報告が協議・承認され、続いて、富田会長から、ときわ会の会費を財源とした卒業生への寄附金制度である「ときわ会賞」の設置提案があり、満場一致で可決されました。

総会の後半では、保健学科看護学専攻 池田敏子准教授(看学 23 期生)の「岡山大学における看護学教育の現状と課題」及び保科英子看護部長(看学 34 期生)による、「岡山大学病院の現状」の特別講演があり、現役を退いた方にとっては後輩の育成の必要性が再認識され、現役で働く者にとっては背筋が伸びる思いがしました。

総会終了後、阿部寿満子顧問の乾杯の発声で懇親会が始まり、笑顔溢れる懇談の場となりました。さらに、下田美代子様(看学 14 期生)の小唄の披露に続いて、山崎典子様(看学 26 期生)率いる「ハートトゥーハート」が素敵なコーラスを届けてくれ、さらに、片岡徹也様(保健学科 1 期生)・星野美帆様(医短 5 期生)から、青年海外協力隊としてグアテマラ・中国での活動報告があり、異国の地に思いを馳せる事も出来ました。また、派遣先の民族衣装をときわ会役員が着用し、参加者の目を楽しませてくれました。

最後は富田会長の挨拶「呵呵大笑」で、皆で会場が浮き上がる位大声で笑い、締め「ハッ」と気合を入れて、お開きとなりました。



歯学部同窓会

【岡山大学歯学部創立 25 周年記念

「同窓会の 25 周年をみんなで祝う会」のお知らせ】

日 時 ●平成 22 年 7 月 11 日 (日) 11 時から

場 所 ●岡山大学創立 50 周年記念館多目的ホール
岡山市北区津島中 1-1-1

連絡先 ● 086-282-9380 (弘末)

全国で最も若い歯学部同窓会である岡山大学歯学部同窓会も今年で創立 25 周年を迎えます。

この 25 周年を会員が会員のために祝えるように「同窓会の 25 周年をみんなで祝う会」を企画しました。当日は恩師の先生をお招きし、津島地区で学生時代を懐かしみながら楽しい時間を過ごし、また、新たな出発の時にしたいと考えています。50 歳を迎えるベテランから新人歯科医師まで、世代を超えての交流の場になればいいと思います。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

歯学部同窓会会長 中野浩輔

工学部同窓会

【工学部同窓会の現状と今後の予定】

工学部同窓会は、工学部の卒業生、在校生、大学院修了生、現旧教職員から構成されており、現在会員総数は 2 万人弱となっています。

工学部は、岡山大学創立以降はじめての学部として昭和 35 年(1960 年) 2 学科からスタートして本年で 50 年となります。

卒業生は産業界、教育界、官界などと幅広く活躍していますが、その活動領域は国内に限定することなく広く海外でも活動しています。

そのような中で同窓会としては「工学部同窓会」及び「各学科同窓会」組織の 2 段階構成で活動し、場合によっては「研究室単位の同窓会」もあり、いろいろと活動しています。

工学部同窓会としては、学部共通事項を中心に活動しており、「同窓会名簿発行」、「同窓会報発行」、「ホームページによる情報発信」、「学部との共同周年行事等」を行っています。

前述しましたように、本年は学部創立 50 周年に当たり、5 月 1 日(土曜日)、2 日(日曜日)の両日、岡山市内において「工学部創立 50 周年記念行事」を予定しております。

同窓生の皆様には、後日お送りする 50 周年記念行事案内や、工学部同窓会ホームページなどを御覧になり、是非とも御参加頂きますよう御案内申し上げます。

工学部同窓会としては今後とも工学部と協力して学部の発展に寄与する所存でございます。同窓生の方々の御協力をよろしくお願い申し上げますとともに、同窓生の御活躍、御健勝を祈念いたします。

工学部同窓会
代表幹事
加藤珪一

工学部の同窓会ホームページを充実させるため、みなさまから、同窓会関係行事のお知らせや同窓会の近況、また、同窓生による文章の寄稿やホームページへのリンクなどの情報を募集しています。

【同窓会事務局 e-mail ▶ ofst@cc.okayama-u.ac.jp】

学部同窓会からのお知らせ

環境理工学部同窓会

平成21年10月25日、岡山大学創立60周年関連事業として、「ようこそ先輩・環境理工学部創立15周年記念事業」が開催されました。各界で活躍中の先輩たちが職業人としての経験や考え方を後輩の学生・院生に対して講演するもので、環境理工学部同窓会を構成する環境数理学科同窓会、環会（環境デザイン工学科）、拓水会（環境管理工学科）、環境物質工学科同窓会から各2名の会員がその任に当たられました。講演者は公務員、大学等の教員・研究員、民間企業、海外ボランティア等で活躍されている方々で、200名を越す参加があり学生にはインパクトがあったのではないのでしょうか。講演をお引き受け頂いた卒業生の皆さんにお礼申し上げます。

閉会后、第3回環境理工学部同窓会役員会が開催されました。平成20年度事業報告並びに決算報告と平成21年度事業計画並びに予算について審議されました。各学科同窓会の関係者が催し物に積極的に参加し交流することの必要性が感じられました。次回の役員会は4月若しくは5月に開催することとしました。

同窓会のホームページができました。岡山大学のホームページからもリンクしています。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/est1/>

行事予定、役員会議事要旨等を掲載しています。是非、御覧下さい。

環境理工学部同窓会 教員幹事 三浦健志

農学部同窓会

【農学部中庭に東屋建築】

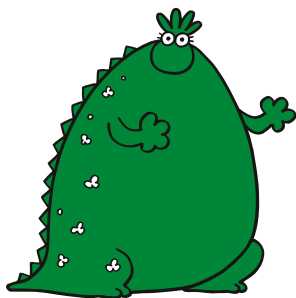
農学部同窓会が学生会とも協力し、1号棟の中庭と2号棟・3号棟の間の庭に東屋を2棟、建築しました。

建築費用の半額は「木の香る憩いのまちづくり」推進事業の補助を受けて県産木材を使用し、学生も協力して建築しました。

屋根つきの休憩所として学生のみなさんに利用していただいています。特に春夏秋には中庭に笑い声が満ち溢れています。



岡大キャラクター



GAKUMON
ガクモン



SEMON
セモン



HYUMON
ヒュモン



NEIMON
ネイモン



DOMON
ドモン



KOMON
コモン

岡山大学マスコットキャラクターは、平成19年4月、岡山大学コミュニケーションマークとともに誕生しました。

プロデューサーは岡山市出身の工業デザイナー・水戸岡鋭治さんです。

社会のみなさまに本学に親しみを持っていただくことを目的としており、ホームページや大学グッズなどに使われています。

岡山大学21夢基金への御支援について

この基金は、岡山大学が創立60周年を迎え、その記念事業として学内外に広く募金を行い、その運用益を恒久的に、奨学金、教材の充実、国際交流資金、学習環境整備等に活用することといたしております。

つきましては、本趣意を御理解いただき、格別の御支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成22年1月1日現在、625件 16,661千円の御厚志をいただいております。

詳細は、<http://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/>を御覧いただくか、岡山大学総務・企画部総務課総務係までお問い合わせください。(TEL086-251-7007)